

徳島県地域生活定着支援センター

徳島県地域生活定着支援センターは、罪を犯した高齢又は障がいのある方の社会復帰に向けた支援を行うために平成23年に設置され、以後、保護観察所からの依頼に基づき、矯正施設退所後の福祉サービスの斡旋や帰宅先の確保を行うコーディネート業務及び矯正施設退所後の受け入れ施設等への助言を行うフォローアップ業務等を行っている。

1 事業活動の概況と進捗状況

本年度の業務執行状況は、保護観察所からの依頼に基づくコーディネート業務は、前年度を下回る結果となったが、矯正施設退所後の受け入れ施設等への助言等を行うフォローアップ業務及び関係機関からの一般相談等を行う相談支援業務は、前年度並みの実績となった。

また本年度は、事業所開設10年となることから、これまでの業務成果をまとめた、「事業所開設10年のあゆみ」を発行し、関係機関に対して周知を行うとともに、四国四県の地域生活定着支援センターが情報交換や事例検討を通じて業務促進を図る「四国ブロック会議」を開催した。

(1) 業務執行状況

(単位：件)

項目	年度	令和2年度	令和3年度	増減率
	コーディネート業務	前年度継続分	4	3
本年度新規分		5	4	—
合計		9	7	77.7%
フォローアップ業務	前年度継続分	9	11	—
	本年度新規分	3	3	—
	合計	12	14	116.6%
相談支援業務	合計	12	13	108.3%

2 重点取組事項

(1) 関係機関との情報共有と相互連携

徳島保護観察所及び徳島刑務所との三者会議を開催し、今後出所予定者で支援対象となる方の情報共有を行うとともに、関係機関との相互連携を図った。

(開催回数：7回、参加者：70名)

(2) 「事業所開設10年のあゆみ」の発行

本年度に事業所開設10年となることから、これまで実施してきた業務成果（支援対象者、帰宅先等）をまとめ、関係機関に対して周知を行った。

(送付箇所：89箇所)

(3) 「四国ブロック会議」の開催

四国四県の地域生活定着支援センターが業務上抱える課題や提案等についての情報交換を通じて業務促進を図る「四国ブロック会議」を開催した。

(開催日：令和4年1月、参加者：14名)

(4) 職員の支援スキル向上

全国地域生活定着支援センター等が主催する専門研修会等にWebを通じて参加し、専門性の向上と困難事例解決のための方策等、職員の支援スキル向上に取り組んだ。

(開催回数：11回、参加者：11名)

(5) 入口支援業務開始に係る支援業務検討会議の開催

令和4年度から実施する高齢・障害被疑者等支援業務（入口支援）に向けて、徳島県、保護観察所及び検察庁による支援業務検討会議を開催し、実施後の課題、事前準備事項等の検討協議を行った。

(開催回数：2回、参加者：13名)